

2026年6月18日

新しい学習指導要領について話し合っているみなさまへ

(中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会

特別活動ワーキンググループ 主査 恒吉 僚子 様)

広げよう！子どもの権利条約キャンペーン

共同代表 甲斐田万智子、喜多明人、野村武司

【子ども向け版】 特別活動をよりよくするための要望書

～ 特別活動を、子どもの権利について知り、実際にやってみる機会にしてください～

学校では、学級活動やホームルーム、児童会・生徒会活動、学校行事などの「特別活動」が行われています。私たちは、特別活動が子どもの権利について学び、実際に意見を出したり参加したりできる時間になってほしいと考えています。

そのために、次の5つを要望しています。

要望 1. 特別活動で「子どもの権利」を大切にすることをはっきり示す

私たちは、特別活動の目標の中に「子どもの権利」をはっきり書いてほしいと考えています。

子どもは、大人に言われたことをするだけの存在ではありません。自分の考えを持ち、意見を伝え、学校や社会をよりよくしていく大切な一人の人です。

そのため、特別活動を通して、自分やほかの人の権利を大切にしながら、みんなでよりよい学校や社会をつくる力を育ててほしいと考えています。

要望 2. 児童会・生徒会で子どもの意見が学校に活かされるようにする

私たちは、児童会や生徒会を、子どもが学校づくりに参加できる大切な場にしてほしいと考えています。

たとえば、

- 学校のルール、
- 学校生活の改善、
- 行事の進め方

などについて、子どもたちが意見を出し、話し合い、その意見が学校の決定に活かされるようにしてほしいと考えています。

先生には、答えを決める人ではなく、話し合いを支える人として関わってほしいと思います。

要望 3. 学校行事を子どもも一緒につくる

私たちは、運動会や文化祭、宿泊行事などの学校行事を、先生が決めるだけでなく、子どもも一緒につくる活動にしてほしいと考えています。

そのために、

- 行事の目的を知ること、

- 内容について意見を出すこと、
- 計画づくりに参加すること、
- 終わったあとに振り返ること

を大切にしてほしいと考えています。

また、一人ひとりの体調や気持ち、考え方も大切にされる行事であってほしいと思います。

要望 4. 学級活動やホームルームで「権利」と「参加」について学べるようにする

私たちは、学級活動やホームルームで、自分やほかの人の権利について学び、話し合う機会を増やしてほしいと考えています。

また、クラスや学校のルールを決めるときには、

- みんなが意見を言えること、
- 少数の意見も大切にされること、
- 話し合いを通して納得できる答えを探すこと

を大切にしてほしいと考えています。

そのためには、安心して意見を話せる環境が必要です。先生には、そのような環境をつくってほしいと思います。

要望 5. 先生が子どもの権利について学べるようにする

私たちは、先生が子どもの権利について学ぶことも大切だと考えています。

先生には、

- 子どもの意見を大切すること、
- 話し合いを支えること、
- いじめや体罰をなくすこと、
- 子どもの権利を守ること

について学ぶ機会を増やしてほしいと考えています。

そうすることで、子どもが安心して参加できる学校づくりにつながると考えています。

私たちは、この 5 つが実現することで、子どもの意見が大切にされ、子ども自身が学校づくりに参加できる学校になることを願っています。

そして、特別活動が、子どもの権利を学び、実際に使ってみることができる時間になることを願っています。

以上